

資源管理事業

【放流事業】

小樽市漁業協同組合では、限りある水産資源の維持・管理のため、ニシン・サケなどの稚魚放流やウニ・アワビなどの種苗放流を行って、水産物の維持・増大事業に取り組んでいます。

平成8年度からはじまったニシンの放流事業は、ここ数年、産卵時に見られる群来（産卵・放精によって海の色が乳白色になる）が確認され、生産高も回復しています。



サクラマス

- 稚魚放流
- ニシン 147,000尾
- サケ 600,000尾
- サクラマス 20,000尾
- ヒラメ 51,250尾



ウニ

- 種苗放流
- ウニ 290,000粒
- アワビ 10,000粒

放流風景



【養殖事業】

資源管理事業として放流だけでなく、近年は、種苗の生産事業にも取り組んでいます。

平成28年度からナマコの養殖事業を開始し、初年度は約6万匹の種苗生産に成功し、日々生産技術の向上に励んでいます。



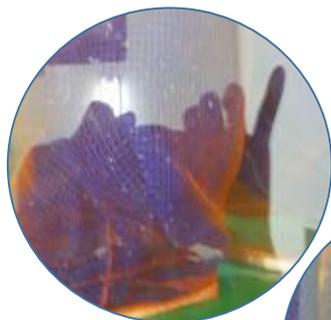
採卵した親ナマコ



ナマコ飼育用ネット



ナマコ飼育用水槽



飼育1カ月後

飼育2カ月後



【各漁港へ放流】

